

## 東日本大震災被災地支援

### 区社会福祉協議会からボランティアセンターへ運営支援



4月27日(水)から5月4日(水)まで、宮城県石巻市災害ボランティアセンターの運営支援に参加しました。

地震、津波の影響で沿岸部から内陸部にかけて広い範囲で被害を受けていました。沿岸部は、漁

業関係の工場や製紙工場などがありましたが、津波の影響により破壊され、また、地盤沈下により、満潮時や雨が降っても冠水する地域もあります。さらに、映像では伝わらない、汚泥や食品等の腐敗臭、石巻市は普段から風の強い地域でもあり、ほこりが舞い上がると広範囲に広がって作業にも支障を与えています。私が参加した期間は、ゴールデンウィークの最初に当たり、県内外からのボ



ランティアがたくさん参加されました。「被害に遭われた方のため、何かしたい」という気持ちから、親子、外国人、高齢者など、期間中は1日平均1000名程のボランティアに来ていただいて家屋の泥出し、瓦礫の撤去、家財道具の運び出し、家の中の後片付けなどの様々なニーズに対して活動が行なわれました。ボランティアの

方々によると、瓦礫の下からご遺体が見付かり、自衛隊の方への報告引き継ぎをされたケースもありました。また、土のう袋に入れた泥を運ぼうとしてガラスで手や足を切った、釘を踏んでしまったなどの事故報告もありました。

今後も、継続したボランティア活動が望まれます。その時には、現地からのニーズを正確に把握し、活動もそれに合うように支援を考えていくことが重要です。

区社会福祉協議会  
事務局次長 藤井一

### 区民壮年ソフトボール大会



5月15日(日)に第35回山科区民壮年ソフトボール大会が勤修寺公園グラウンドで開催されました。13学区の体育振興会チームが出場し、熱戦が繰り広げられました。

優勝 山階南体育振興会チーム  
準優勝 大宅体育振興会チーム  
三位 鏡山体育振興会チーム  
三位 音羽体育振興会チーム

優勝した山階南体育振興会チームは7月24日(日)(雨天時7月31日)に岩倉東公園グラウンドで行われる京都市大会に山科区代表として出場されます。

●問合せ先/区まちづくり推進課(☎592-3088)



7月7日(木)  
場所:京都橘大学

### 七夕陶灯路

小雨決行、雨天の場合は7月8日(金)に順延

午後6時30分点灯～8時30分消灯

京都橘大学では、今年で3回目となる"七夕陶灯路"を開催します。七夕陶灯路とは、七夕飾りに加え、地域の伝統産業である清水焼の陶器を用いた灯りイベントです。灯りは全てロウソクを使用し、やわらかく揺らめく幻想的な光を生み出します。学内では6つのゾーンを設け、各ゾー



ンごとにテーマを決めて趣向を凝らした演出を行いますので、どこを見ても異なる灯りの風合いを楽しんでいただけます。また、本年は3月11日に発生した東日本大震災で犠牲になった方々への鎮魂と地域の復興への祈りを込めて実施いたします。

●問合せ先/京都橘大学(☎574-4186)



### 第61回「社会を明るくする運動」山科区大会 ～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～

法務省主唱の「社会を明るくする運動」は、今年も「更生保護の日」である7月1日からの1ヵ月を強調月間として、全国各地で様々な活動が実施されます。今年度の山科区大会は、元検事で現在はさわやか福祉財団の理事長をされている堀田

力氏の講演などを行います。講演では、すべての人が周りから認められ、生きている喜びを実感し、生き生きと暮らせる社会をどうやって創っていけば良いのかについての講演を予定しています。

また、今年も犯罪や非行のない地域社会の実現を目指す青年ボラ

ンティア団体、京都中央BBS会の皆様による「BBSって？」発表や区内の小中学校に出演いただき、合唱や演奏も行います。館内では区内の小学校・総合支援学校から寄せられた絵画や書の展示も行います。(展示は午後4時まで)

●日時/7月10日(日)午後1時～

●場所/東部文化会館(柳辻西浦町)  
●内容/【一部】式典 【二部】  
○堀田力氏による講演「誰もが主人公になる社会」  
○BBS会の活動発表  
○大宅小学校3年生による合唱  
○花山中学校吹奏楽部による演奏  
●問合せ先/社会を明るくする運動実行委員会 会長 西岡達雄(☎581-2691)

### みんなで「第2期山科区基本計画」に取り組もう!

第2回

### 連載 区民活動きずなリレー

～山科青少年活動センターの「まちの探検隊」によるホタルを守り育てる活動～



●ホタル鑑賞会でのうちわ作り

今年の4月からスタートした「第2期山科区基本計画」。区民の皆様でつくり上げられた計画を、皆で実行・実現していきましょう。

今回は、子どもたちと一緒にホタルを守り育てる活動を行っている山科青少年活動センターの「まちの探検隊」を紹介します。

「まちの探検隊」は、子どもた

ちを対象に、山科の自然について、野外活動を通じて学ぶ活動で、同センターの呼び掛けで集まったボランティアがスタッフとなり、平成13年に発足しました。その中のグループの一つである「ホタルクラブ」では、毎年6月に、小学生を対象に「ホタル鑑賞会」を行い、好評を得ています。古川菜弥子さんは、小学生の時にチラシを見て、この鑑賞会に参加してから、川の掃除やバーベキューなどのイベントにも参加し、今やスタッフの中心メンバーです。鑑賞会は、子どもたちとうちわ作りなどを通じて仲良くなった後、暗くなっ

てから安祥寺川や山科川などに出掛けて、ホタルを見ます。ホタルは天気や気温に左右されるので、見れるポイントを下見し、一番多く出そうな川を選びます。

一番よく見られるのは、雨上がりの日だそうです。鑑賞会以外には、水質調査などの活動にも子どもたちと一緒に取り組み、2年前まではホタルも飼育していました。古川さんによれば、いろいろな楽しい活動に惹かれて、気付けばクラブに参加し、9年。生まれ育った山科に、もっとホタルが増えるよう願っているそうです。

一方、「まちの探検隊」の代表の不破克憲さんは、「転勤で昨年山科に移ってから、大学時代のNPOセンターでの経験を活かしたいと、センターのチラシを見て、



●安祥寺川での自然観察会

すぐに参加を決めました。ホタルや川をはじめ、子どもたちと一緒に少しでも山科の自然に親しみたい」と思っているそうです。

「ホタルクラブ」の活動も含め、子どもたちと山科の自然と一緒に学ぶ「まちの探検隊」は、現在ボランティアスタッフを募集中です。(問合せ先☎593-4911)

山科の若者が、子どもたちと一緒に山科の自然を守り育てるといふ、まさに「環境を守り継ぐ」活動は、とても頼もしいものです。

●問合せ先/区総務課企画広報担当(☎592-3066)